



正面全景

学習院大学南1号館

学習院大学の南1号館の外壁タイルの保存と再生にスクラッチタイルを採用。

昭和2年に建てられ、国の登録有形文化財である南1号館校舎の再生と保存を実現するために改修工事が行われました。既存のタイルを一旦剥がし、再度場所を変えて施工している部分もあり、旧タイルと新しく再生したタイルを混在させ表現した外壁面になっています。タイルの表面部分にスクラッチ(=引っ掻き)模様を刻んだスクラッチタイルは、その特徴であるワラビと呼ばれる大小の溝が表面に刻まれ、手作り感あふれた重厚な味わいのタイルです。設計者からの指示により、復原にあたっては何度もタイルの混合比や質感表現を検討し追求しました。複雑な色合いが壁面を彩り、鮮やかな緑と調和しています。

DATA

設計監理：株式会社三菱地所設計

施工：鹿島建設株式会社

所在地：東京都豊島区目白1-5-1

竣工：2012年03月

商品情報

外装壁タイル：

FC-1/108×60/L1191-81:341:342:343:83=1:2:8:8:5MIX (特注色)



全景

外観



全景



復原タイル(2、3階)と既存タイル(1階)

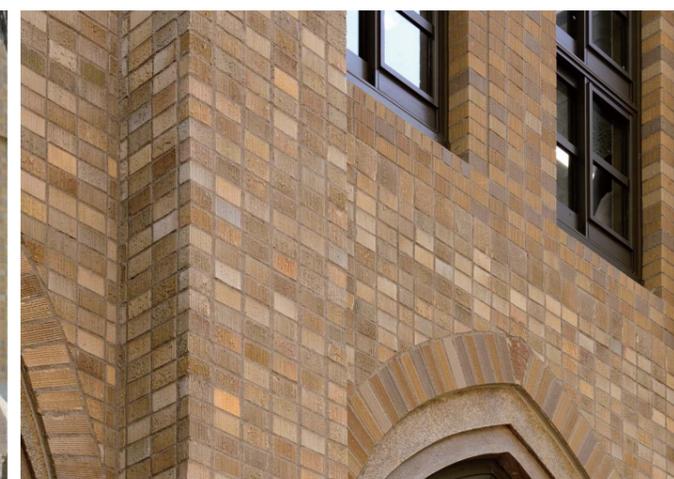


見上げ中景

外観



開口部近景



下部:既存タイル 上部:復原タイル

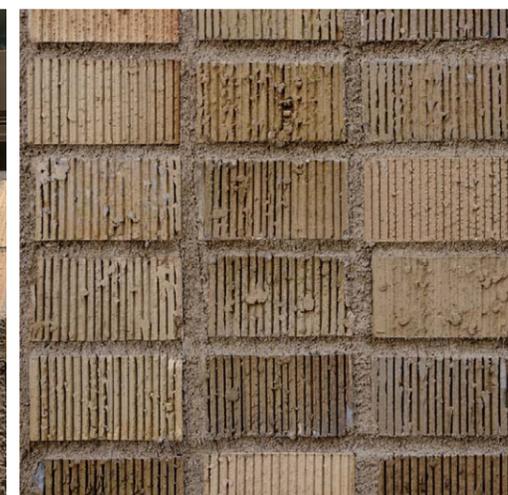


アーチ型の美しい窓

ディテール



窓廻り



既存タイル



復原されたスクラッチタイル